

## 平成 25 年度「北九州市制 50 周年記念事業実行委員会」 事業報告

### 1 取組概要

平成 25 年 2 月 10 日に市制 50 周年を迎え、「北九州市制 50 周年記念事業基本構想」の基本理念やコンセプトを踏まえ、

- まちの魅力をあらためて見つめなおす事業
- 子ども達が将来に夢や希望を感じるような事業
- 市民が自ら参加し、まちの活性化につなげる事業

などを実施することで、合併から半世紀という大きな節目の年を市民の皆さんと祝うとともに、未来につながる契機の年となるよう努めた。

### 2 事業期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

### 3 事業内容

#### (1) 会議

予算・決算や、事業計画・報告など、実行委員会の運営に関する基本的な諸事項を審議、決定するため以下の会議を開催した。

《総 会》

- ・平成 25 年度第 1 回総会

(日 時) 平成 25 年 4 月 25 日 (木)

(主な議事) 役員を選任、平成 24 年度事業報告・収支決算報告、平成 25 年度事業計画・収支予算に係る各案の審議

- ・平成 25 年度第 2 回総会

(日 時) 平成 26 年 3 月 12 日 (水)

(主な議事) 平成 25 年度事業報告・仮決算報告、実行委員会の解散に係る各案の審議

#### (2) 事業

##### イベント開催

- ①「まちの魅力発信ナビゲーター養成講座」

##### 【事業概要】

多くの方に北九州市の魅力を知ってもらうために昨年度開催した「北九州まちの魅力再発見シンポジウム」の次のステップとして、本市の魅力や強みを情報発信することができる“まちの魅力発信ナビゲーター”を養成するための講座開催や、受講生によるまち歩きを実施した。

##### 【実施期間】

- ・ナビゲーター養成講座 平成 25 年 8 月 3 日～平成 26 年 2 月 8 日 (全 6 回)
- ・受講生によるまち歩き 平成 26 年 2 月 8 日 (土)

**【定員】**

ナビゲーター養成講座 40名

**【場所】**

- ・ナビゲーター養成講座 小倉都心部、長崎市など
- ・受講生によるまち歩きコース 小倉都心部の3エリア

**②「北九州未来の架け橋フォーラム」****【事業概要】**

市制50周年記念事業のフィナーレに向けて機運を高めるとともに、未来を担う子ども達に夢や感動をあたえ、北九州市の未来を創造する契機とするため、オリンピックメダリストの有森裕子さんらを迎え、フォーラム等を開催した。

**【開催日】**

平成25年11月4日（振替休日）

**【主な内容】****《マラソン教室》**

会場：グリーンパーク

時間：10:00～11:30

内容：有森 裕子（オリンピックメダリスト）さんによるランニング教室

**《フォーラム》**

会場：若松市民会館

時間：14:00～16:00

内容：①有森 裕子（オリンピックメダリスト）さんによる特別講演  
②アトラクション（地元キッズによるダンス披露など）  
③トークライブ（出演：有森 裕子・柴原 洋・藤吉 信次）

**【参加者数】**

マラソン教室 300名、フォーラム 400名

**③「北九州市タイムカプセル」****【事業概要】**

市制50周年を記念して北九州青年会議所との連携により、子どもたちが家族や友人への思いや将来の自分に宛てた「タイムカード」を保存するタイムカプセルを設置した。タイムカプセルは、10年後に開封し、当時を振り返り、現在の自分を見つめ直す切掛けや、自分達が暮らすまちがどのように変化しているかを確認する機会とするなど、本事業を通じて、子ども達の思い出づくりや本市への郷土愛の醸成に寄与するもの。

**【開催日】**

- ・タイムカードの配布・回収 平成25年9月15日～11月15日
- ・タイムカプセルの設置 平成25年12月1日（日）

**【設置場所】**

若松区響町二丁目 市民太陽光発電所内

**【収蔵枚数】**

19,256枚

#### ④フィナーレイベント「北九州 夢・未来フェスタ 2014」の開催

##### 【事業概要】

市制 50 周年を盛大に締めくくり、次の半世紀に向けた新たなスタートを踏み出すため、記念事業のフィナーレを飾るイベントを開催した。

開催にあたっては、本市初のフルマラソン大会「北九州マラソン」と連携することで、市内外から訪れる 10,000 人以上のマラソン参加者をはじめ、多くの方々に本市の魅力を発信するとともに、賑わいの創出を図った。

##### 【開催日】

平成 26 年 2 月 8 日（土）～9 日（日）

※2 月 8 日はグルメイベントのみ開催

##### 【イベント内容】

- ・ B-1 グランプリ出展団体によるご当地グルメの提供（6 団体）
- ・ 本市の代表的なご当地グルメの饗宴（11 団体）
- ・ 小学校対抗 玉入れ選手権大会 i n 北九州
- ・ 本市出身の国民的美少女“吉本美憂”さんのトークショー
- ・ 飛行船「夢・未来号」が大空を舞う！
- ・ 2063 個の七色のバルーンリリース
- ・ 東北支援 釜石市 浜焼きのチャリティ販売
- ・ この他にも、大人から子どもまで楽しめる多彩なイベントを実施

##### 【会 場】

あさの汐風公園、西日本総合展示場

##### 【来場者数】

82,000 人（8 日：12,000 人、9 日 70,000 人）

#### 市民公募事業

##### ①「市民公募 50 事業」

##### 【事業概要】

市民の皆さんと一体となって、全市的に市制 50 周年の盛り上がりを図るため、市民の皆さんが自ら企画・実施する取り組みやイベント等に対し、1 事業あたり上限 100 万円を原則として事業経費を補助する事業を平成 24 年度に引き続いて実施した。

##### 【実施期間】

平成 25 年 4 月～平成 26 年 2 月

※平成 24 年度事業として平成 25 年 1 月～3 月にも実施)

##### 【採択事業数】

計 51 事業

※平成 24 年度事業は 13 事業

##### 【合計来場者数】

約 745,000 人

### (3) 広報宣伝事業

#### ① 「マスコミタイアップ事業」

##### 【事業概要】

記念事業のコンセプトに沿った編集記事の掲載や共催イベントの実施など、主要新聞社（5紙）とのタイアップにより市制50周年に関する企画を行ってもらうことで、郷土愛や一体感の醸成、あるいは本市の強みや魅力の情報発信など、効果的なPRを図った。

##### 【主な内容】

##### ◇朝日新聞

###### (1回目)

- ・発行日：平成25年8月13日（火）
- ・掲載内容：《テーマ》北九州市の魅力再発見  
《概要》これまで培われてきた様々な強みや魅力のほか、脈々と息づく個性的な食文化や北九州マラソンの紹介”
- ・体裁：8段×8段見開き・カラー
- ・エリア等：西部本社版（九州・山口）発行部数：675,000部

###### (2回目)

- ・発行日：平成26年1月21日（火）
- ・掲載内容：《テーマ》次の50年を創る多彩な魅力  
《概要》産業遺産の活用や漫画・映画などの特色ある取り組みを紹介。併せて、「夢・未来フェスタ」「北九州マラソン」の概要を紹介
- ・体裁：8段×8段見開き・カラー
- ・エリア等：西部本社版（九州・山口）発行部数：675,000部

###### (3回目)

- ・発行日：平成26年2月8日（土）
- ・掲載内容：《テーマ》可能性溢れる次の50年の幕開け  
《概要》「ものづくり」と「環境」という北九州市ならではの強みを生かして未来を切り開く北九州市の姿を紹介
- ・体裁：8段×8段見開き・カラー
- ・エリア等：西部本社版（九州・山口）発行部数：675,000部

##### ◇西日本新聞

###### (1回目)

- ・発行日：平成25年9月20日（金）
- ・掲載内容：《テーマ》地域とのふれあい  
《概要》小学生を対象とした“夏休みわくわく講座”を展開するとともに、新聞記者の指導の下、夏休みの独自の新聞を作成し、採録として掲載
- ・体裁：10段カラー
- ・エリア等：九州全域発行部数：770,000部

(2回目)

- ・発行日：平成26年2月9日（日）
- ・掲載内容：《テーマ》未来に繋げ・再発見「北九州未来地図」  
《概要》シニアと子どもたちが協力し、昔ながらの良いところや子ども目線の再発見など、北九州未来地図を作成し、参加者のコメント等を採録として掲載
- ・体裁：20段見開き＋10段・カラー
- ・エリア等：九州全域 発行部数：770,000部

◇日本経済新聞

(1回目)

- ・発行日：平成25年8月14日（水）
- ・掲載内容：《テーマ》北九州の現在（いま）  
《概要》環境、経済、文化、スポーツなど、全国から注目を浴びる北九州の現状を伝える。併せて、マスターズやマラソンの情報を掲載。
- ・体裁：10段モノクロ
- ・エリア等：西部支社版（九州、山口西部） 発行部数：172,000部

(2～6回目)

- ・発行日：平成25年9月7日（土）～10月12日（土）
- ・掲載内容：《テーマ》北九州の歴史  
《概要》各時代の様子や特筆すべき出来事など、北九州が歩んだ歴史を、時代区分毎に一定期間継続して発信。
- ・体裁：各2段モノクロ
- ・エリア等：西部支社版（九州、山口西部） 発行部数：各172,000部

(7回目)

- ・発行日：平成25年12月4日（水）
- ・掲載内容：《テーマ》北九州の未来  
《概要》北九州市が将来的に実現したい社会・まちづくりについて仮想の物語風に仕立て、具体的に訴求する
- ・体裁：8段×8段見開き・モノクロ
- ・エリア等：西部支社版（九州、山口西部） 発行部数：172,000部

◇毎日新聞

(1回目)

- ・発行日：平成25年7月25日（木）
- ・掲載内容：《テーマ》50周年記念イベント紹介  
《概要》インターハイ、スポーツマスターズ、北九州マラソンの告知広告を掲載
- ・体裁：5段モノクロ
- ・エリア等：西部本社セット版（福岡県全域、山口・大分・佐賀県の一部）  
発行部数：430,000部

## (2回目)

- ・発行日：平成25年8月27日（火）
- ・掲載内容：《テーマ》ものづくりの街のにぎわいづくり  
《概要》ものづくりの街として発展してきた北九州ならではの  
特徴あるにぎわいづくりの取り組みを紹介
- ・体裁：10段カラー
- ・エリア等：西部本社セット版（福岡県全域、山口・大分・佐賀県の一部）  
発行部数：430,000部

## (3回目)

- ・発行日：平成25年9月29日（日）
- ・掲載内容：《テーマ》環境未来都市・北九州市  
《概要》10月に展開する「エコマンス」を見据えて、“環境”  
をテーマとした記事を掲載
- ・体裁：10段モノクロ
- ・エリア等：西部本社セット版（福岡県全域、山口・大分・佐賀県の一部）  
発行部数：430,000部

## (4回目)

- ・発行日：平成26年2月7日（金）
- ・掲載内容：《テーマ》マラソンを通して見る本市の歴史  
《概要》マラソンコースの紹介と併せ、沿線及び付近の歴史的  
建造物を紹介するとともに、「北九州マラソン EXPO」  
や「夢・未来フェスタ」の告知記事を掲載
- ・体裁：10段+10段見開き・カラー
- ・エリア等：西部本社セット版（福岡県全域、山口・大分・佐賀県の一部）  
発行部数：430,000部

## ◇読売新聞

### (1回目)

- ・発行日：平成25年8月14日（水）
- ・掲載内容：《テーマ》アスリートが語る北九州市  
《概要》元ソフトバンクホークス・柴原洋氏が語る北九州市へ  
の思いや市民へのメッセージなど
- ・体裁：8段+8段見開き・モノクロ
- ・エリア等：西部本社・セット版（福岡県全域、山口・大分県の都市部）  
発行部数：540,000部

### (2回目)

- ・発行日：平成26年1月23日（木）
- ・掲載内容：《テーマ》北九州の食文化&食材ラインナップ  
《概要》シェフによる北九州の食文化座談会を通じて、豊かな  
自然が生み出す地元食材を生かした西洋料理について  
語る。

- ・体 裁：20 段（見開き）モノクロ
- ・エリア等：西部本社・セット版（福岡県全域、山口・大分県の都市部）  
発行部数：540,000 部

## 【備 考】

上記のほかにも、各新聞社に市制 50 周年を契機とした独自企画を働きかけるとともに、取材協力等も行ないながら、様々な特集記事や連載記事等の掲載につなげ、本市の情報発信強化に努めた。

(事例 1) 以下の特集記事を日本経済新聞の編集記事として掲載

- ・発行日：平成 26 年 1 月 27 日（月）
- ・掲載内容：《テーマ》次の 50 年に挑む「北九州」特集  
《概要》日経新聞西部支社創立 50 周年と市制 50 周年を関連付けながら、編集特集記事として北九州市の動向を執筆
- ・体 裁：8 段×8 段見開き・モノクロ
- ・エリア等：全国版 発行部数：2,950,000 部

(事例 2) 以下の記事を読売新聞の独自企画として掲載

- ・発行日：平成 26 年 1 月 30 日（木）
- ・掲載内容：《テーマ》北九州マラソン、フィナーレイベント開催告知  
《概要》開催が迫った「北九州マラソン」「夢・未来フェスタ」の概要紹介。
- ・体 裁：8 段カラー
- ・エリア等：西部本社・セット版（福岡県全域、山口・大分県の都市部）  
発行部数：540,000 部

## ② 「各種広告媒体を活用した広報」

ラッピングモノレールの運行や、市制 50 周年専用ホームページの開設、主要施設における懸垂幕の設置、商店街への PR バナーの掲出、多くの来場者が訪れる施設での告知看板設置など、各種屋外広告媒体を活用した PR を行うとともに、地元情報誌やレジャー誌、各種機関紙などを活用した情報発信に取り組んだ。

## ③ 「広報・PR ツール作成」

市内外への周知を図るため、市制 50 周年記念ポロシャツや、記念事業紹介パンフレット、市制 50 周年ステッカー、各種ノベルティグッズなど、各種 PR ツールを作成した。

## ④ 「PR コーナー等の設置」

九州国立博物館での特設 PR コーナーの設置、「市場まつり」、「モノレールまつり」、「TOTO リモデルフェア」など、多くの来場者・参加者が予想されるイベント等に PR ブースを設置したほか、市役所本庁舎 1 階への「市制 50 周年 PR コーナー」の常設展示、「わっしょい百万夏まつり」へのパレード参加等を実施した。

《参考》PR コーナー・ブース出展等の実績 H25 年度 26 回

⑤「ロゴマーク・キャッチフレーズの活用」

市制 50 周年を分かりやすくアピールするとともに、市民の皆さん等に親しみを深めてもらうため、市制 50 周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズを、市民や団体、企業等が実施する行事・イベントのパンフレットやポスター、プログラム等に積極的に掲出してもらうよう働きかけた。

⑥「市制 50 周年記念」の冠付けの推進

市制 50 周年を記念した新たな事業・行事の実施や、官民が実施する各種事業への冠付けを積極的に推進し、市制 50 周年を市全体で盛り上げていく機運の醸成を図った。

⑦「北九州市制 50 周年記念事業報告書」

プレ期間での取り組みを含め、市制 50 周年を記念して実施した各種事業や広報の取り組み、団体、企業の皆さんが製作した作品など、市制 50 周年での取り組みを総括的に紹介する報告書を作成。

- ・発行 平成 26 年 3 月（予定）
- ・発行部数 2,000 部

⑧「その他」

市政記者クラブへの密な情報提供や、市政だより、市政テレビ・ラジオなどの活用、専用ホームページを通じた情報発信などを行い、市制 50 周年の盛り上がり、わがまちの強みや魅力の発信に努めた。

**(4) 団体・企業等との連携**

記念事業を全市的に盛り上げていくため、市の内部に設置している「市制 50 周年記念事業推進本部」との連携はもとより、団体や企業などに市制 50 周年を契機とした行事・イベント等の開催や、記念品の企画・製作、各団体・企業での主体的な取り組みなどを働きかけ、官民が一体となった取り組みを進めた。

**【主な事例】**

- ・市制 50 周年記念エコバッグの発売
- ・JR 小倉駅観光案内所前の壁面を活用した PR シートの掲示
- ・銀行窓面を活用した PR シートの掲示
- ・市制 50 周年記念ビールの限定発売 など

**(5) 記念事業の全体調整**

市や民間が実施する記念事業の取りまとめや、事業への冠付けとロゴマーク・キャッチフレーズの使用申請の受付・許可など、記念事業の全体調整に取り組みながら、事業の円滑な推進を図った。